



取手市が、桑原開発とともに最重点課題と位置付ける取手駅西口開発は、駅前交通広場の整備終了により区画整理事業は実質終了。区域内の一部A街区は、民間施行の再開発事業に移る計画です。駅前一極集中の財政投入が暮らしに身近な基盤整備などに影響してきました。「A街区再開発」への補助金に加え公共施設導入計画など約80億円もの税金投入は、さらなる市財政を圧迫することが懸念されます。

取手駅西口開発

区画整理事業から

「A街区再開発」へ

取手駅西口交通広場開通 7月30日



7月30日午前4時新装開通した取手駅西口交通広場。29日に地元関係者など多数の出席で開通式が行われた。



「狭くて危険」と早期整備が求められてきた整備前の駅前広場北側

6.5haを区域に取手駅北土地区画整理事業がスタートして32年。「狭くて危険な駅前広場の早期整備を」と待ち望まれた駅前交通広場が、4100㎡から5500㎡に拡幅整備され7月30日に開通しました。2025年3月には区画整理事業は実質終了する予定です。

その後のA街区(現仮設交通広場)には、地権者20人中、8人が参加する再開発事業(区域:6000㎡、11月都市計画決定予定)が計画されています。

A街区再開発事業・施設計画概要(案)

階数: 1~5階
専有面積 7,100㎡
・店舗・駐車場 2,600㎡ (内訳不明)
・図書館等 4,000~4,500㎡ (市がビル床購入)

非住宅棟 (公共施設・店舗・駐車場)

階数: 2~25階
専有面積 14,000㎡
約200戸

住宅棟

地上25階建て、延べ床面積 36,000㎡

(2月29日議員全員協議会資料より)

駅前開発と図書館を考える

シリーズ2

社会教育はぜいたく品か?

駅前開発を考える会 遠藤 俊夫

『学習権宣言』(1985年ユネスコ国際成人教育会議採択)は、「学習権は・・・未来のためにとっておかれる文化的ぜいたく品ではない」、「人間の生存にとって不可欠な手段」であり、「より健康な生活を営む」ために、そして「戦争を避ける」ために、「平和に生きることを学び、お互いに理解しあうことを学ばねばならない。」

は、「人々を、なりゆきまかせの客体から、自らの歴史をつくる主体にかえていくものである。」学習権は基本的権利の一つであると述べています。

我が国の社会教育法では、社会教育は「すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実際生活に即する文化的教養を高める」活動であり、市町村に、公民館や図書館など社会教育施設の設置を奨励し、社会教育の振興を義務づけています。憲法第26条(教育を受ける権利)と共鳴しています。ジャーナリストの武野武治は「学ぶことをやめれば、人間であることをやめる。生きることは学ぶこと、学ぶことは育つことである。」(『詞集たいまつ』)といっています。



合併以前の旧藤代町が市民と図書館専門家などを含む建設委員会を中心に検討を重ねて建設された藤代図書館。図書館ボランティア等多くの市民に親しまれている。

取手駅西口開発の歩み

<第一次開発>

- 事業期間 1979年~1986年
総事業費約103億円
- 取手市施行
第一種市街地再開発事業
区域面積 7,500㎡
(民間敷地 4,700㎡、
従前交通広場 2,800㎡)に、
旧東急ビルと交通広場拡幅・
ペDESTリアンデッキ整備

<第二次開発>

- 事業期間 1993年~2024年
総事業費 153億円~219億円に(現在迄)
- 取手市施行の
「取手駅北土地区画整理事業」
(65,000㎡)を「再開発」と
「合併施行」とし、区域内A街区
約7,000㎡を権利者組合施行の
第一種再開発事業を計画。
- 終盤を迎えた区画整理は、
A街区:1,000㎡個別利用・
6,000㎡再開発事業にそれぞれ土地利用は分離整備される。
- 区画整理事業の他、サイクルステーション・歩行者デッキの
延伸・ウェルネスプラザ等整備に別途建設費用を要した。

区画整理事業 6.5ha
A街区再開発 0.6haの区域図



A街区最後のビル解体直後、
区画整理終盤工事中の交通広場
(2023年1月17日撮影)



パリ五輪開幕

“平和の祭典” 真価が問われる

ロシアによるウクライナ侵略、イスラエルによるガザ攻撃が長期化するも、パリ五輪が約 200 か国・地域、1 万人を超える選手を集めて 26 日（日本時間 27 日未明）開幕。「スポーツを通して心身を向上させ、友情、連帯感、フェアプレーの精神を持って理解しあうことで、平和でより良い世界の実現に貢献する」との五輪精神を担う日本はじめ各国選手への期待が広がり、“平和の祭典”としての真価が問われる中での開幕となりました。

仏非正規ダンサー スト撤回

待遇改善で同意

しんぶん赤旗 7 月 26 日号は、パリ五輪の 26 日開会式に出演予定のダンサー 200 人以上が、労働条件と出演者間の報酬格差改善を求めている問題で、労組「舞台芸術組合（SFA）」は 24 日、報酬の一部について正規雇用のダンサーらと同等の待遇を保障することで雇

用者側と合意したと表明。通告していた開会式でのストライキを取りやめたと報道。SFA の「不安定雇用で困難な状況に置かれたダンサーが経済的不安から解放される」との声明を紹介、労組のたたかいをたたえました。



核なき世界へ 原水爆禁止世界大会 広島・長崎で

核兵器のない平和で公正な世界を目指す 2024 年原水爆禁止世界大会は、8 月 3 日、広島での国際会議を皮切りに、8 月 9 日のナガサキ集会までの一週間開催されます。3 年前に発効した核兵器禁止条約は、現在までに署名・批准国は 163 か国に広がりました。しかし、唯一被爆国である日本政府は、今なお署名すらしていません。そればかりか岸田政権は

核兵器禁止条約の流れに逆らう日米両政府

「被爆の日」目前の 7 月 28 日、事実上自衛隊を米軍の指揮下に置く「指揮統制の枠組み」強化を最大の焦点に、外交・軍事担当閣僚会議を行い、併せて、核抑止強化に関する初の閣僚会合も開催しました。核兵器廃絶への大きな流れに逆らうこうした議論を行うことは、広島・長崎の今も苦しむ被爆者、被爆 2 世等の思いを踏みにじる許すことのできないものです。

井野団地（八重洲バス停付近）の 道路が暫定整備

市民が要望

加増みつ子市議と日本共産党井野後援会は、住民の皆さんと力を合わせ、「身近な生活基盤の整備で、安全な暮らしを」と繰り返し取手市等に求めています。「井野団地外周道路（バス通り）」の整備は 7 か年計画（年間約 1 億円強）で、今年は、4 期目の工事へ、全線完成まであと 3 年かかる予定です。

雨、水たまりなど酷い箇所の整備を急いで」との要望に市は、「予算がない」と言いながらも一部暫定整備を行いました。

取手駅前開発に巨額の税金投入より身近な生活基盤を優先すれば、市内各地の道路や排水整備の為に予算は十分確保できます。



雨が降ると水がたまり、歩道も車道も傷みがひどく、改修が求められていた「井野団地循環八重洲バス停」付近



住民の要望届け暫定的に整備されたバス停付近（7月16日撮影）

教育委員会総会を傍聴

教育委員会の役割に疑問

6 月 26 日開催の市教育委員会総会は、「取手図書館を取手駅前に移設する計画」の再検討を求める請願（請願者代表：遠藤俊夫・松浦和子さん）を不採択としました。

取手駅西口前に『図書館を核とした複合公共施設』の整備方針「決定」記事を記載した 3 月 15 日付取手市広報は、市民ばかりか、図書館職員や関係者の多くも「初耳だ、いつの間どこで決まったの」など、図書館協議会も社会教育委員会にも諮られていないことへの批判が広

がりました。

請願は、「図書館協議会並びに社会教育委員会を招集し当該計画について諮るなど民意を聞く為の必要な手続きをとること。

教育委員会に諮り、再検討のために審議を尽くすこと。」としています。

教育委員会が所管する図書館の在り方についての十分な審議を求める請願の願意について、実質的な審議はほとんどなく、教育委員（定数 5 人中 4 人出席）は全員請願に反対しました。

日本共産党

2024年取手市民アンケート実施中

ご協力下さい。日本共産党取手市委員会

日本共産党 取手 検索 0297-72-7816

パソコン・スマホからは



日本共産党は、身近な道路や排水、安全施設の整備など街づくり、医療や介護、子育て、暮らしと営業などの分野にわたり市民の皆さんに、アンケートのお願いをしています。ぜひご協力ください。